

# 浪江町井手地区における林野火災状況及び環境放射線モニタリングの実施結果について

平成 29 年 5 月 17 日  
福 島 県

## ○林野火災の概要

火災場所：浪江町、双葉町（帰還困難区域内）  
焼損面積：調査中（50ha 以上となる見込み）  
出火原因：落雷によるものと推定。（浪江町大字井手字沢山国有林1310林班から出火）  
日時：覚知：H29. 4. 29（土） 16：24  
鎮圧：H29. 5. 6（土） 18：10  
鎮火：H29. 5. 10（水） 15：05  
災害対策本部：浪江町災害対策本部設置 4. 30（日） 5：00  
浪江町・双葉町合同災害対策本部設置 5. 1（月） 10：00

### 消火活動状況（5月10日速報値：災害対策課まとめ）

県では、4月29日の火災覚知を受けて警戒配備体制を早急にとった他、現地合同災害対策本部に相双地方振興局長に加え、情報連絡員（リエゾン）を派遣し、町と連携しながら関係機関への要請を行うなど事態の収拾にあたった。

- ・双葉消防本部及び県内広域消防本部約 1,400 名、自衛隊約 2,600 名など延べ 5,000 名を超える規模
- ・自衛隊ヘリ：消火活動延べ 66 機、統制活動機延べ 20 機（延べ計 86 機）
- ・防災ヘリ：福島、宮城、栃木、群馬、新潟、東京、埼玉、仙台、横浜、川崎（延べ計 62 機）

## ○位置図等

### 浪江町・双葉町における林野火災の状況について

H29. 5. 10(水) 森林林業課室



# ○環境放射線モニタリング実施状況

## モニタリング結果概要：

既存のモニタリングポストによる測定に加えて、5月1日から火災現場周辺における追加モニタリングを行った。これまでのところ火災現場周辺の全ての地点において空間線量率に大きな変化は見られていない。一方、大気浮遊じん中のセシウム濃度については、一部で数値の変動も見られたが、最大でも呼気吸入による被ばく線量を算出しても年間1mSvの約100分の1程度であり、健康影響を及ぼすレベルではない。

## <実施状況>

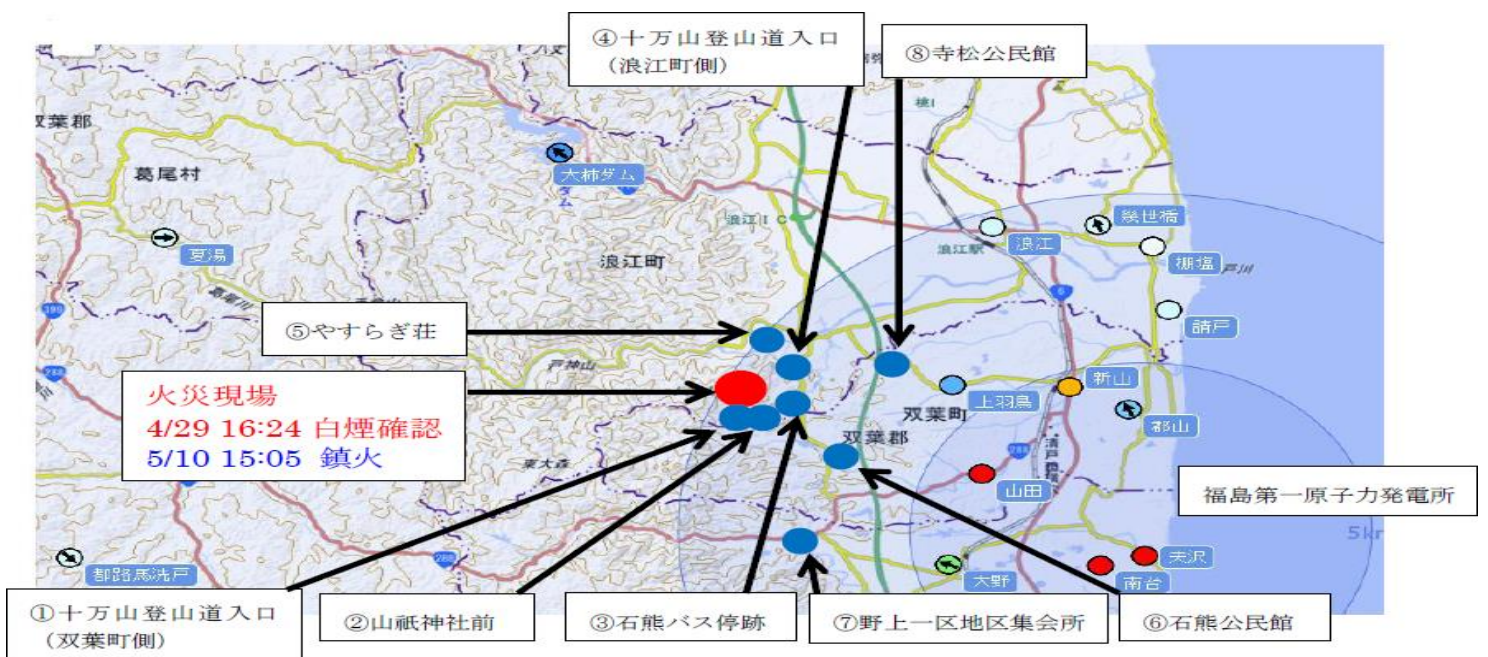
空間線量率の測定：5.1(月)より①～④の地点で実施（サーベイメータによる測定）

②～④については、5.5(金)より可搬型MPに切り替え、追加モニタリングを実施。

※⑤～⑧は、既設モニタリングポスト

大気浮遊じん(ダスト)の測定：5.1(月)より⑥⑦の地点、5.2(火)より⑤の地点の計3地点で追加モニタリングを実施。

## <地点図>



## <線量率の推移>

